

## 令和元年度（平成 31 年度）プリムラ利用状況 平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

平成 29 年度プリムラ利用状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日	20	19	20	22	17	19	21	19	20	19	18	21	235
補助	106	133	154	173	130	149	129	144	147	133	96	76	6
自主	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1570
合計	107	133	155	173	130	149	129	144	147	135	98	76	1576

### 令和 2 年 3 月

3月の利用者数は76名でした。年齢別では1才児の21名(28%)、3才児の19名(25%)、2才児の13名(17%)でした。1才児のうち17名は上気道炎です。

疾患別で上気道炎の38名(50%)、咽頭炎の10名(13%)、胃腸炎の9名(12%)、溶連菌感染症の9名(12%)です。昨年よりも早く、2月からインフルエンザは早期に収束し、新型コロナウイルス感染の影響もあり利用人数は減少しました。

2月からの新型コロナウイルス感染流行が増え、感染対策として、プリムラでは継続して安心してお子様をお預かりできるように、3月から入室時に制限をさせていただきました。お陰様で今まで感染紛れ込みは免れています。3月末からは新型コロナウイルス感染は感染源が特定できない症例が増えています。また小児の感染は殆ど報告がありませんでしたが、最近では乳児、小児の感染も報告されています。プリムラが、今後も病児保育室を継続できるように、感染予防としてスタッフの健康管理、手洗い、保育室室内消毒、保育中の室内換気を励行して安心してお子様をお預かりできるよう致します。

ここ数日東京の新たな新型コロナウイルス感染者数が毎日増え続け、新型コロナ感染が少しずつ身近になっている気配があります。4月3日には今後の感染者の爆発的な発生防止対策として、練馬区でも東京都から要請を受け、練馬区内立小中学校は4月6日から5月6日まで臨時休校になりました。また幼稚園、学童クラブ、保育施設等も可能な範囲で登園利用自粛依頼の方針が出されました。更に保護者宛の通知では、登園登校自粛に伴い病児保育施設利用控えも出されました。

しかしプリムラは、1日でも早く子どもの平和な日常が戻るように切に願いつつ、従来通りに病児をお預かり致します。

令和2年4月から、プリムラは開設17年目を迎え、令和2年3月末まで、延べ10308名の子どもたちのご利用がありました。これからもスタッフ一同笑顔で皆様をお迎えできるようにいたします。今年度もよろしくお願い致します。

## 令和2年2月

2月の利用者数は98名でした。年齢別の上位は7才児の25名(26%)、1才児の21名(21%)、8才児の13名(13%)でした。7才児のうち22名はインフルエンザB型でした。疾患別の上位はインフルエンザB型の41名(42%)、上気道炎の28名(29%)、胃腸炎の15名(15%)でした。先月のインフルエンザA型の収束後は、インフルエンザB型が低学年児童に流行し始めました。

## 令和2年1月

1月の利用者数は135名でした。年齢別の上位は1才児の27名(20%)、2才児の24名(18%)、6才児の21名(16%)でした。6才児のうち15名はインフルエンザでした。疾患別の上位はインフルエンザA型の82名(61%)、上気道炎の28名(21%)、胃腸炎の7名(5%)でした。先月のインフルエンザA型は89名でしたので、若干減りました。例年、2月頃にピークを迎えることが多いのですが、今年は早く収束するかもしれません。

## 令和1年12月

12月の利用者数は147名で昨年と同じ月間最多でした。年齢別の上位は5才児の26名(18%)、1才児の23名(16%)、6才児の22名(15%)でした。

疾患別の上位はインフルエンザA型の89名(61%)、上気道炎の36名(24%)、胃腸炎の11名(7%)でした。12月は、予測の通りインフルエンザA型の病児が増えました。

12月の製作活動では、クリスマスツリーや雪だるまの製作を行いました。異年齢の為、事前にパーツを切り分けて、両面テープを着け、はりつけやすくしました。また、出来上がった製作物は部屋に飾り付けたり、子どもたちが持ち帰りました。25日には職員によるクリスマスのお出し物を行いみんなで特別な日を楽しみました。

## 令和1年12月

12月の利用者数は147名で昨年と同じ月間最多でした。年齢別の上位は5才児の26名(18%)、1才児の23名(16%)、6才児の22名(15%)でした。

疾患別の上位はインフルエンザA型の89名(61%)、上気道炎の36名(24%)、胃腸炎の11名(7%)でした。12月は、予測の通りインフルエンザA型の病児が増えました。

12月の製作活動では、クリスマスツリーや雪だるまの製作を行いました。異年齢の為、事前にパーツを切り分けて、両面テープを着け、はりつけやすくしました。また、出来上がった製作物は部屋に飾り付けたり、子どもたちが持ち帰りました。25日には職員によるクリスマスのお出し物を行いみんなで特別な日を楽しみました。



製作中の様子



職員の出し物（シャバーニのクリスマス手品ショー）

### 令和1年11月

11月の利用者数は144名で昨年と同じ月間最多でした。年齢別の上位は1才児の26名（20%）、3才児の24名（19%）、2才児の20名（16%）でした。

疾患別の上位は上気道炎の55名（38%）、インフルエンザA型の27名（19%）、胃腸炎の26名（18%）でした。10月からインフルエンザが漸増していますが、12月には更に増えると予測されます。

プリムラでは保育看護の一環として製作活動を続けています。年間4つの製作目標を掲げていますが、10～11月はハロウィンです。病児保育は基本的には異年齢保育になりますが1才児が多いため、事前に種々のパーツを保育士が準備し、これを台紙に貼り付けるようにしています。年齢に応じて保育士が必要な介助を行い、作品に仕上げます。仕上げた作品は子ども達が嬉しそうにお家に持ち帰ります。



製作中の様子



製作したペンダント

### 令和1年10月

10月の利用者数は129名でした。年齢別順位の1位は1才児の26名(20%)、2位は3才児の24名(19%)、3位は2才児の20名(16%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の63名(49%)、2位はインフルエンザA型の24名(19%)、3位は咽頭炎の13名(10%)でした。

10月の後半頃から、インフルエンザの利用が増えてきており疾患別順位も2位になりました。インフルエンザの病児は4才以上で年齢の大きい病児の利用が増えてきています。今後更にインフルエンザの病児は増えると予測されます。

## 令和1年9月

9月の利用者数は149名でこれまでの月間最多記録139名を更新しました。9月の利用率は98%で毎日ほぼ満員でした。年齢別順位の1位は1才児の59名(44%)、2位は2才児の24名(16%)、3位は3才児の23名(15%)で1才児が突出しています。

疾患別順位の1位は上気道炎の63名(48%)、2位は咽頭炎の25名(19%)、3位はRSウイルスの15名(12%)でした。

今年、大流行となった手足口病は5名(4%)となり先月の予測通り減少、終息しました。

## 令和1年8月

8月の利用者数は130名でこれまでの月間最多記録129人を更新しました。年齢別順位の1位は1才児の44名(34%)、2位は2才児の31名(24%)、3位は3才児の23名(18%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の63名(48%)、2位は咽頭炎の25名(19%)、3位はRSウイルスの15名(12%)でした。

今年、大流行となった手足口病は5名(4%)となり先月の予測通り減少、終息しました。

## 令和1年7月

7月の利用者数は173名でこれまでの月間最多記録169人を更新しました。年齢別順位の1位は1才児の55名(32%)、2位は2才児の33名(19%)、3位は0才児の25名(15%)でした。0才児が上位に入ることは珍しいですが、胃腸炎(11名)、手氏口病(7名)が主要疾患でした。

今月は11種もの疾患がありましたが、疾患別順位の1位は上気道炎の52名(30%)、2位は手足口病の29名(17%)、3位は咽頭炎の26名(15%)でした。手足口病は先月より増え、ピークに達しました。来月には減少するものと予測されます。

11疾患のうち、胃腸炎、手足口病、水痘を除く疾患は全て呼吸器系疾患で、利用者数は全体の2/3を占めました。

## 令和1年6月

6月の利用者数は155名でした。年齢別順位の1位は1才児の74名(48%)、2位は3才児の25名(16%)、3位は2才児の22名(14%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の78名(50%)と半分を占め、2位は咽頭炎の21名(14%)、3位は手足口病の18名(12%)でした。夏に流行する手足口病が徐々に増え始めてきました。国立感染症研究所も今年の大流行を予測しています。

### 令和1年5月

5月の利用者数は133名でした。年齢別順位の1位は1才児の47名(35%)、2位は2才児の30名(22%)、3位は3才児の14名(11%)でした。最多の1才児のうち、29名が上気道炎でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の74名(56%)で1/2以上を占めました。2位は咽頭炎の15名(11%)、3位は胃腸炎の12名(9%)でした。ロタウイルス感染症も6名おり、嘔吐、下痢を伴う消化器系疾患の割合が多いのが特徴です。

### 平成31年4月

4月の利用者数は107名で、100名以上が39ヶ月連続で続いています。年齢別順位の1位は1才児の37名(35%)、2位は3才児と2才児が同数の18名(17%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の70名で全体の約2/3(65%)を占めました。2位は胃腸炎の9名(8%)、3位はインフルエンザB型の7名(7%)でした。B型の発症は初めてですが、A型の流行の後に発症することが多いのが実態です。



春の壁面飾り